

魅力あふれる能登を応援！

団体名●のとぷろ／代表者名●中村汰樹（経済学部経営学科 4年）

はじめに(背景・目的・目標)

このプロジェクトは、2024年1月1日に起きた能登半島地震の前から能登の魅力を発信するために活動を行っていました。震災後は能登の魅力を発信することに加えて、能登の方々、特に子どもたちを元気付けたいと思うようになりました。私たちの活動を支援してくださるNPO法人チーム能登喰いしん坊の拠点である穴水町で活動を行いました。昨年度はクリスマス会を開催し、2025年度は異なるイベントで地域の方々を元気付けたいと思い、秋祭りを開催しました。

活動内容

今年度の活動回数は、秋まつりの1回であり参加学生数は20名でした。秋まつり参加者は約20名でした。昨年度と同じ会場を使わせていただき、お祭りにちなんで、ヨーヨー釣りや射的、ボールすくいや輪投げを行いました。また、自分で作ったものが手元に残ることは、親にとってうれしいことだし、子供たちも喜んでくれるのではないかと考え、形を変えやすいモールフラワーやインテリアとしても飾ることができるハーバリウム、自分で飾りつけや絵を描ける紙コップ風船も用意しました。イベントの最後には、ビンゴ大会も行いました。

成果、結果の考察

まず、成果としては、能登の子どもたちが私たちのイベントを通してとても笑顔になってくれたという点が挙げられます。保護者の方々からも「子どもたちが楽しめるイベントを開催してくれてありがとう」という言葉をいただくことができました。

次に、結果の考察についてです。今回のイベントは主に子ども向けに開催しましたが、当日は高齢の女性同士が参加されるケースもありました。老若男女が楽しめるこのような活動は、継続的かつ定期的に開催することが望ましいと感じました。また、今回のイベントに参加してくれたのは、事前に告知を依頼した幼稚園の園児のみなさんが多く、小学生の児童

の参加は少ないという結果になりました。このことから、イベント内容を工夫することでより幅広い年齢層の方々に参加していただけると考えます。

今後の課題、展望

今回、イベントを開催するにあたって、能登の幼稚園や小学校に告知を行いました。十分な告知活動ができなかった点が課題として残りました。イベントの内容や準備等を計画的に行うことで、より早い時期での告知やアピールができると考えます。これまでは、主に能登の方々を対象とした活動を行ってききましたが、今後は金沢に能登の魅力を届けられるような活動のあり方も検討したいと思います。



写真1：ボールすくいの様子



写真2：モールフラワーづくりの様子